

# 日清食品グループ 栄養改善事業の取り組み

---

2015年3月12日

日清食品ホールディングス株式会社

# 1. 日清食品のご紹介

# 1-1 会社概要

商号:	日清食品ホールディングス株式会社
設立:	1948年9月
代表者:	安藤宏基 (CEO)
時価総額:	7,412億円
連結売上高:	4,176億円
従業員数:	8,357名 (連結)
拠点:	19か国、51製造拠点

## シリアル



## 即席麺



## 乳飲料



## チルド麺



## 冷凍食品



日清食品ホールディングスは消費者の多彩なニーズに応え続けてまいります

食足者平

(しょくそくせへい)



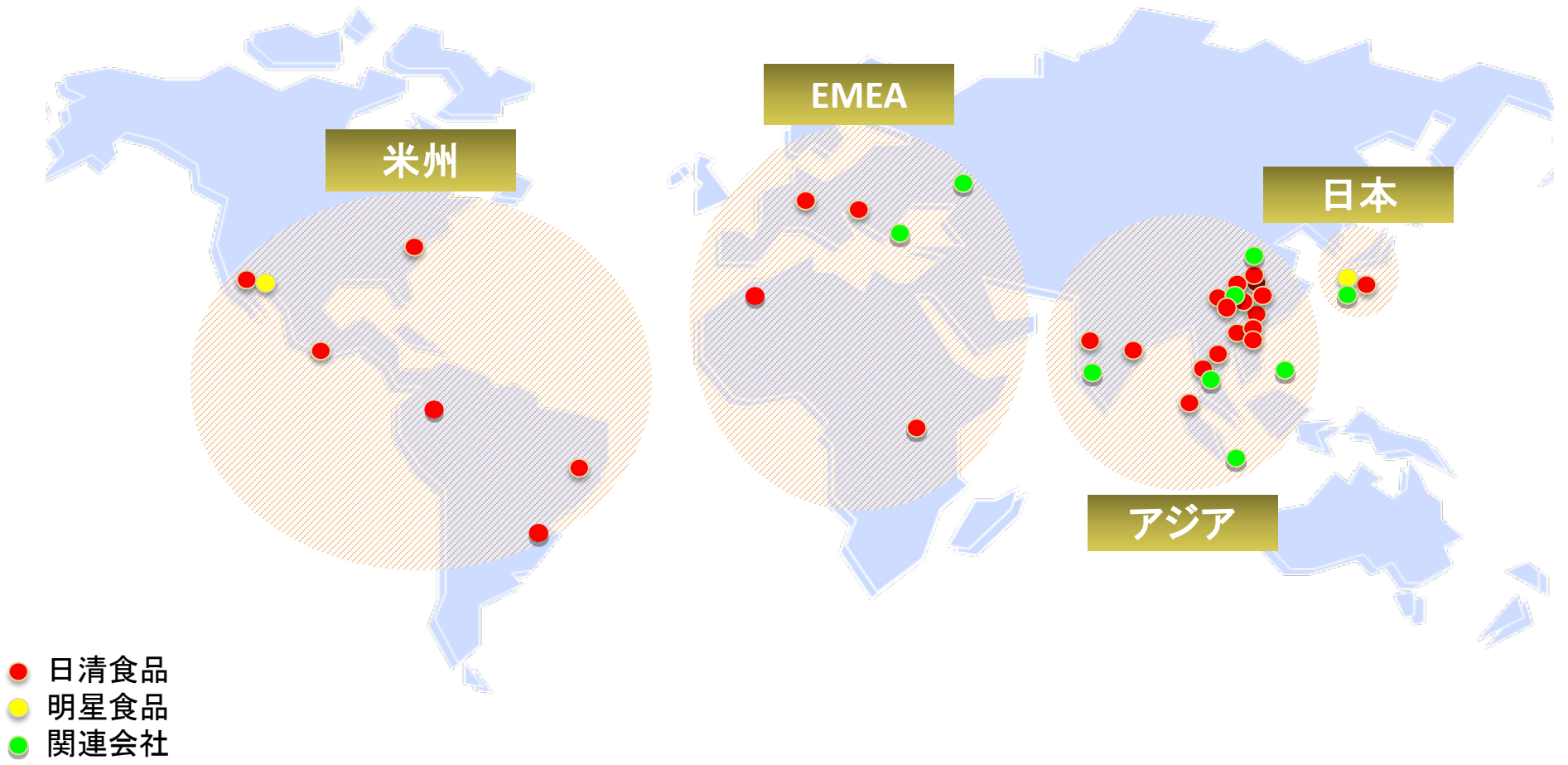
『厚生省はチキンラーメンを「妊産婦の健康食品」として推奨…ビタミンB1、B2を添加した商品は1960年に厚生省から「特殊栄養食品」の認可を受けた』\*

食は人間の命を支える一番大切なものです。  
文化も芸術も思想も、すべては食が足りてこそ語れるものです。  
食のあり様が乱れると、必ず国は衰退し、争いが起こります。  
食が足りて初めて世の中が平和になるのです。  
日清食品グループの事業は、人間の根源から出発しています。

『食が足りてこそ世の中が平和になる』

\*注: 日経新聞「私の履歴書 安藤百福」より抜粋

# 1-3 日清食品の世界展開



世界19か国に51の製造拠点を展開

# 1-4 日清食品の地域別商品展開

## 米州



## アジア



## 中国



## 欧州



各国の食文化に合わせた商品を展開



日本



米国



香港



タイ



インド



ドイツ

これまでに80か国で300億食のカップヌードルを販売

# 1-4 日清食品グループの研究開発機能



## 米国、メキシコ

・米州向け商品の研究開発

## ハンガリー

・製造工場に併設された  
EMEA地域向け商品の研究開発

## the WAVE (八王子、2014年開設)

- ・延床面積18,638m<sup>2</sup>、人員287名
- グローバルイノベーション研究センター
- ・食品の基礎・応用研究、生産技術開発など
- グローバル食品安全研究所
- ・品質保証、食品の安全にかかるリスク管理・評価、

## シンガポール

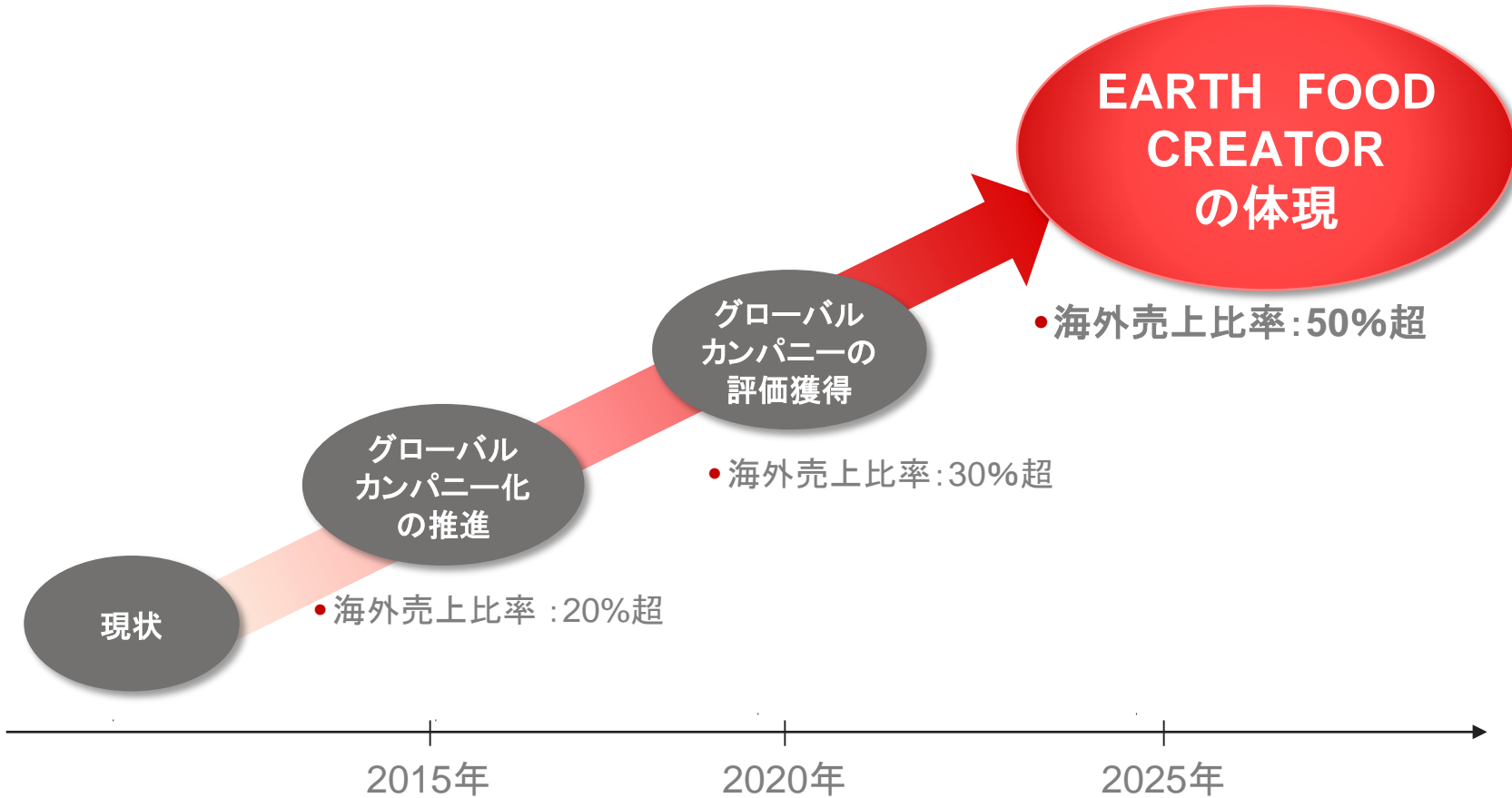
・主に東南アジア向け商品の研究開発

## 上海食品安全研究所

・食品原材料の安全性確保のための分析、  
新規分析方法の研究開発など

the WAVEを中心に、世界各地で商品・技術の研究開発を推進

# 1-5 日清食品グループの目指す姿



世界中を食の楽しみや喜びで満たすことを通じて社会や地域に貢献



## 2. 新興国での事業展開事例



## インド 事業概略

- インドは近年急成長をしている世界5位の即席めん市場(総需要約50億食と日本に迫る規模)
  - 1991年にIndo Nissin Foods設立。米・ナンといった伝統的な食文化を有している市場に即席めん文化を啓蒙。安価で安全な食べ物として普及に努めてきた
- 現在は南部・北部・東部に工場を展開し、袋めん・カップめんを国土全域で販売
  - 2014年には現地出身者が社長に就任し、経営層の現地化が進展
- 2014年にはカップヌードルをリニューアルし、独自フレーバーを開発。また、通常の袋めんとは差別化された、短いめん(CHOPめん)にマサラを練り込み・まぶした商品‘Scoopies’を発売し新セグメントを創出



2013年 JKUAT日清設立



ナイロビ試食風景

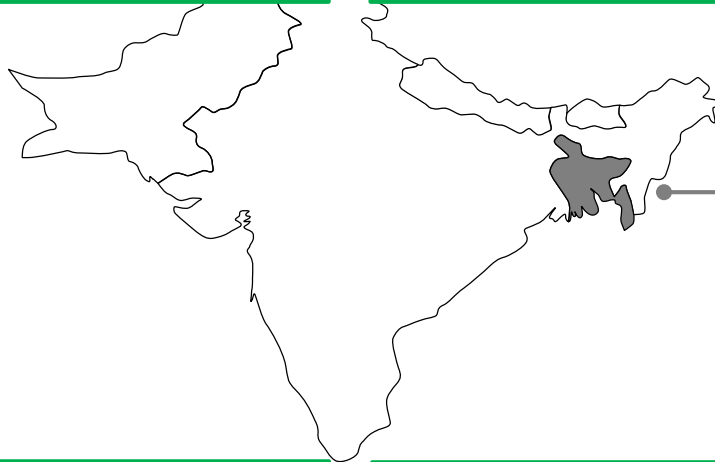


ソルガム

## ケニア 事業概略

- 2008年、即席めんを通じてアフリカの人々のおなかを満たし、食産業へと育てケニアの人々の自立を支援するという、「Oishiiプロジェクト」を開始
- 学校給食支援活動や国立ジョモケニヤッタ農工大学 (JKUAT)への即席麺技術教育を経て、2013年 JKUATとの合弁会社「JKUAT日清」設立、ケニアの食文化や嗜好に合わせた「NISSIN NOODLES」を発売
  - 汁の少ない焼きそばタイプで、チキン味とケニア風焼き肉ニヤマチョマ味の2種類
  - めんには栄養を強化するためにケニア政府が推奨する全粒粉やアフリカ原産の雑穀のソルガムを練り込み





### バングラデシュ 事業概略

#### ローカル開発食品による乳産婦と乳幼児の栄養改善事業準備調査

- 2013年、国際協力機構のプロジェクトとして、バングラデシュでの妊産婦・乳幼児への栄養改善を目的としたBOP事業の事業性評価調査を実施
  - － 調査は途上国支援プロジェクトを展開するNGO「アライアンスフォーラム財団」と共同で実施。事業モデルの検証には現地NGOの販路ネットワークの利用も検証
- 潜在的マーケットは大きいと思われる一方でマーケット情報の精度が低く、現地での製造ライン立ち上げに見合う市場規模が存在するかの見極めに難航。事業性の調査を継続中
  - － なお、輸入ベースの事業は高い関税(138%)によりローカル食としての普及は困難

### 3. ご参考：日清食品のCSR活動

# 3-1 国連WFPへの協力



## 国連WFPへの協力

- 国連WFP協会の会長を日清食品ホールディングス CEOの安藤宏基が務め、WFPの活動を積極的に支援



## 活動・支援内容

### 「レッドカップキャンペーン」参加

- 2012年4月より、飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を提供する国連WFPの「レッドカップキャンペーン」に参加し、「チキンラーメン」と「チキンラーメンどんぶり」の売上の一部を寄付

### WFPウォーク・ザ・ワールドへの特別協賛

- 途上国の子どもたちの飢餓への支援を呼びかけ、参加費の一部が国連WFPの「学校給食プログラム」に役立てられるチャリティウォークに特別協賛

### WFPエッセイコンテストへの特別協賛

- 国連WFPが飢餓問題や国連WFPの食糧支援活動への認知拡大を目的に開催するエッセイコンテストに特別協賛

国連WFP協会を通じて飢餓と貧困の撲滅活動に貢献

## WINAについて

- WINAは、安藤宏基が会長を務め、日清食品ホールディングス内に事務局を置くインスタントラーメンの世界的な業界団体
- WINAでは、インスタントラーメンを通じた社会貢献として、大規模災害に際して被災地に近い会員企業の協力を得て食料支援を行っている



## WINAの活動

### WINA食品安全会議をシンガポールで開催

- 2014年11月にシンガポールでWINA食品安全会議を開催。WINA会員の即席麺メーカーのトップや品質保証担当者など16の国や地域から総勢98名が集まり、食品安全問題について話し合いを行った

### 中国雲南省地震の被災者へ即席めん3万食を支援

- 2014年8月に起きた中国雲南省地震に際し、即席めん3万食を被災地域の赤十字へ無償提供

### フィリピンの台風被災者へ即席めん30万食を支援

- 2013年にフィリピン中部を襲った大型台風30号の被災地に、即席めん計30万食を現地の赤十字社等を通じ提供

WINAの活動を通じ、災害時の食料支援等を実施



# **EARTH FOOD CREATOR**

**NISSIN FOODS HOLDINGS**